

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330009	X-21-B-2-330009			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	1年 1年 1年 × × ×
授業科目	担当教員	2	後期				
韓国朝鮮史概説	吉澤 文寿						

授業目的

この講義は「植民地主義克服のための朝鮮史」をテーマとして、朝鮮史を古代から現代まで通観する。具体的には、朝鮮におけるナショナリズムの起源と展開について考察をする。そして、これからを生きるわたしたちが現在も継続する「近代」、すなわち植民地主義を克服するための道筋について、展望を示したい。

各回の授業内容

第1回	【授】 講義の概要、レポート作成および参考文献案内 【前・後】 伝達事項の確認（予習・復習各2時間）	第9回	【授】 近代（2）…日清戦争と朝鮮 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第2回	【授】 原始・古代…古朝鮮から三国時代まで 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第10回	【授】 近代（3）…大韓帝国期の朝鮮（日露戦争直前まで） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第3回	【授】 古代～中世…統一新羅から高麗まで 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第11回	【授】 近代（4）…日露戦争以後の国権回復運動 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第4回	【授】 中世～近世…高麗後期から朝鮮王朝前期まで 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第12回	【授】 近代（5）…3・1運動 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第5回	【授】 近世（2）…朝鮮王朝転換期以降の国際関係 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第13回	【授】 近代（6）…「文化政治」期の朝鮮人の諸活動 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第6回	【授】 近世（3）…朝鮮王朝後期 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第14回	【授】 近代（7）…戦時体制期の朝鮮 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第7回	【授】 近世から近代へ…「開国」前夜の朝鮮 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第15回	【授】 現代の課題…解放から現在まで、まとめ 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）
第8回	【授】 近代（1）…大院君・閔氏政権期 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（予習・復習各2時間）	第16回	【授】 定期試験（レポート提出） 【前・後】 レポート作成（予習・復習各2時間）

成績評価方法

期末レポート（70%）、講義ごとに配布するコメントカードの記述内容（30%）によって評価する。

コメントカードの内容は授業中に公表し、講評を加える。

教科書・参考書

教科書は使用しない。講義時にレジュメを配布する。

レポート課題図書は以下の通りである。

岡百合子『中・高校生のための朝鮮・韓国の歴史』（平凡社ライブラリー）平凡社、2002年

中塚明『これだけは知っておきたい 日本と韓国・朝鮮の歴史』高文研、2002年

朝鮮史研究会編『朝鮮の歴史 新版』三省堂、1995年

また、参考図書として、下記の概説書を紹介しておく。

田中俊明編『朝鮮の歴史 先史から現代』昭和堂、2008年

李成市、宮嶋博史・糟谷憲一編『朝鮮史（全2巻）』山川出版社、2017年

受講に当たっての留意事項

日本のアジア認識をテーマとする「日本史（近現代）」を受講しておくと、本講義の内容理解がより深まるだろう。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

朝鮮史の概要を習得し、みずからの関心に即して、一定の結論を示すことを目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習